

しんあい

発行日：令和4年1月17日

- 特別養護老人ホーム裕生園
- ケアハウス シャトル
- きんかん 小規模多機能ホーム
- グループホーム たちばな
- 養護老人ホーム長寿園
- みやづるデイサービスセンター

〒880-2221
宮崎県宮崎市高岡町内山 2407-3
TEL.0985-82-0196(代)
メールアドレス
sin-ai-kai@sin-ai-kai.jp

発行：社会福祉法人 信愛会 ホームページ <http://www.sin-ai-kai.jp>

第
32号



103歳の誕生祝いに孫・ひ孫が駆け付けました。新型コロナウイルス感染症対策でガラス越しの面会となりましたが、お祝いの気持ちは十分伝わりました。(裕生園にて)

ごあいさつ



社会福祉法人信愛会
副理事長

辰元 圭子

令和四年の幕開け、感慨深く迎えています。コロナ禍に明け暮れた去年、毎日発表される感染者の数に一喜一憂し、町・市・県に始まり、国から世界に及び、今までほとんど意識しなかった国の事をも憂う事になりました。感染が世界に広がる毎に、ワクチンの問題や検査キットの事など、同時に世界中が一丸となって研究開発された事で、世界は一つになっていく事の大切さを知らされたと思います。

一方、コロナ禍にあつて誇りを保てたのは、東京オリンピック・パラリンピックの開催が成功した事だと思えます。九年前、自ら手をあげて勝ち取った五輪開催の栄誉。アスリートはもちろん、世界の国々への約束を果たしました。コロナのため一年延期はともかく、いざ開催の年になり、中止運動が起きたり、多くの困難を乗り越え、日本は世界への約束と責任を果たし、「おもてなし」を世界中に届ける事が出来たと思えます。特にパラリンピックでの障がいを持つアスリートたちの活躍は素晴らしいもので、全てのの人に多くの感動を与えました。

私達高齢者を預かる施設は、職員の行動の規制や面会の制限でご家族にも不自由を掛けます。又、第六波が来て、オミクロン株の市中感染が起きました。三密にならないように」と会議、研修がすべてZoom会議になり、この一年はデジタル化が進み、ロボットやICT化が進みました。

今後まだまだ感染症との戦いが続きます。職員全員が心身共に健康である事を願います。

辰元圭子副理事長が瑞宝双光章を受章

令和2年度春の叙勲が四月二十九日に発表され信愛会の辰元圭子副理事長が瑞宝双光章を受章されました。辰元副理事長は昭和五十一年五月の社会福祉法人信愛会設立から携わり、翌年の特別養護老人ホーム裕生園の開設と同時に副園長に就任。翌年から平成二十三年までの三十三年間、裕生園園長を務めました。その後、法人副理事長として現在に至っています。このたび、四十年以上にわたる高齢者福祉分野での功績が認められ、社会福祉功労者としての受章となりました。本当におめでとうございます。



宮崎県福祉保健部次長から賞状と勲章が伝達授与されました(令和2年5月21日、裕生園副理事長室にて)



瑞宝双光章の賞状と勲章

新型コロナウイルス感染症予防のため

ワクチン接種が行われました

令和二年二月頃から日本でも流行し始めた新型コロナウイルス感染症が令和三年になっても収束せず、五月ぐらいから順次、高齢者施設の利用者及び職員に対してワクチン接種が行われました。令和四年一月中旬現在、年末年始の人流増加のためでしょうか、落ち着きを見せていた宮崎でも感染が増えつつあります。これから第六波が到来するのではないかとまだまだ警戒を緩める状況には至っていません。ウイルス自体の力が弱まり普通の風邪程度になるか、或いは特効薬が開発されるまでは、以前のような日常に完全に帰ることは難しいでしょう。グローバル化が進み地球規模で人や物の行き来が盛んになり、新型の感染症がこれからも次々に流行する

ことが心配されます。国を越えた協力が必要です。必要になって



同一敷地内の辰元病院から医療スタッフが来園し、ワクチンの集団接種が行われました(令和3年5月、裕生園にて)



一瞬ククリとしましたが、すぐに終わりました

日本郵便の年賀寄付金配分事業で

特殊浴槽購入の助成を受けました

令和三年七月、裕生園では日本郵便株式会社が実施する年賀寄付金配分事業の助成により、特殊浴槽を設置しました。毎年、年末年始に寄付金付年賀はがきが発行されますが、集まった寄付金の配分団体の募集に応募したところ幸いに採択され、特殊浴槽とそれに付帯するストレッチャー2台の購入費用として活用させていただきました。特殊浴槽は大変高額なため、老朽化していたものを買い替えるのに本当に助かりました。日本郵便株式会社様及び全国の寄付金付年賀はがきを購入された市民の皆様にご感謝申し上げます。



日本郵便の年賀寄付金配分事業で特殊浴槽とストレッチャー購入の助成を受けました(裕生園)



特殊浴槽の側面に「日本郵便年賀寄付金」のロゴを付けました。日本郵便株式会社様及び全国の寄付金付年賀はがきを購入された市民の皆様にご感謝申し上げます

特別養護老人ホーム 裕生園

令和2年、3年度はコロナ対策のため通常の行事や活動を中止・縮小せざるを得ませんでした。運動会、夏祭り、敬老会といった大きな行事は中止となり、ご家族との面会も制限されました。細心の警戒とワクチン接種などで幸いにご利用者・職員ともに感染はありませんでしたが、完全に終息するまでは警戒を怠らず継続して行きます。

花祭り



野点



明るく楽しい 園生活

クリスマス会



レクリエーション



おやつ作り



ケアハウス シヤトル



おやつ作り(たこ焼き)



クリスマス会



ハロウィン

1年を通して、その時々でのコロナの流行に注意を払いながら、季節ごとの活動を楽しんで行いました。



花見ドライブ



花見ドライブ



花見ドライブ



書初め



餅つき



合同レクリエーション



夏祭り(釣り)



紫蘇の葉ちぎり

きんかん 小規模多機能ホーム

できるだけ在宅での生活が継続できるように支援を行っております。



ドライブ(西都原)



ドライブ(馬事公苑)



ドライブ(道の駅7エッグス)



柏餅づくり



うめほし作り



花火



花火



叩いてかぶってジャンケンポン



もちつき

グループホーム たちばな

認知症のある高齢者が専門スタッフの援助を受けながら、家庭的な雰囲気での共同生活をする中で、認知症の進行防止や自立した生活の再建を目指しています。

料理

冷えていて
美味しく
いくらでも食べれる
ねえ

店のたこ焼きより
自分たちで
作った方が、最高に
美味しいがねえー



たこ焼き作り

エンドウ皮むき

早く剥いて、
豆ご飯で
食べましょう



ソーマン流し

2020/08/20 12:06

私が作った
おはぎは
美味しいよー



おはぎ作り

レタス切り

野菜切り
私に任せて



2020/04/21 08:58

大根掘り

今年の大根は
人参位の
大きさね



2021/03/08 14:50

芋掘り、楽しくて
止められないねえ



芋掘り

園芸

外出

コスモス見学

天候が良く、
コスモスも見頃で
良かったー



市民の森の
菖蒲見学に
行ってきました



菖蒲見学



正月書初め

正月には、
やっぱり、
書初めだね

クリスマス会



レクリエーション

クリスマス会で
サンタクロースより
プレゼントを頂きました

養護老人ホーム 長寿園

新型コロナウイルスの ワクチン接種



防災訓練



カルタ遊び



明るく楽しい 施設生活

新型コロナウイルスの影響で面会や外出が出来ない日々が続きましたが、制限のある中で楽しく過ごしました。

おやつ バイキング



夏祭り



屋外で 焼肉バーベキュー



桜見学



みやづるデイサービスセンター

『いつも楽しく、笑顔、笑いの絶えないデイサービス』をモットーに
日々、利用者の皆様と元気に活動しています。



体操



ドライブ



レクリエーション



スカットボール



輪投げ

脳トレ



コスモス作り



書写



切り絵
工作

誕生日会



しんあい俳壇

毎月一回、ケアハウスシャトルで行われている俳句の会で発表された俳句の中から、いくつかを紹介します。作者は、シャトル及び宮崎しんあいの入居者の方々です。(氏名五十音順)



二宮裕子

スーパードイイチゴを買って春を知る
雨上がり紫陽花の花いきいきと
笹の葉に願い事書き星光る
祭りの日夜空に咲いた花火かな
暑い夏風鈴の音夏静か

花田暢子

花は皆東を向けり立ち葵
夏帯は父あがなひし博多織
窓開けて朝げの支度蟬の声
音もなく山肌ぬらす夕立ちかな
木漏れ陽も黄金色なり秋のくれ

浜田俊行

西都原シャトル団体花ざかり
散り桜見知らぬ街も盛り上がる
燕飛ぶ七夕近しひな騒ぐ
菖蒲園池の木の橋夢の道
行く五月迎える六月また楽し

松浦エイ

友の顔思い浮かべる電話口
七草かゆ健やかあれと手をあわす
梅雨空にシヨンボリ立つや親子鯉
病んでみて人の情けにすぎる日々
秋の風黄金の波に笑顔かな

森田琢恵

朝霧の深きよあけや令和なり
紫陽花や浮きたち見ゆる雨の中
水はじく今取れトマト陽の甘味
渡りゆく風のかるさや梅雨晴れま
庭の木に生のよるこび蟬しぐれ

矢野いさ子

炎天下気にせぬ甥の農作業
くぬぎ山今日も又出た鹿の声
秋の晴れ掃除頼みし身の辛さ
ゆうゆうと親子仲良く鯉のぼり
軒先で出入り見守る君子蘭



編集後記

俳句の会第十四回〜十九回のなかから『しんあい』編集部が選びました。コロナ禍で第十九回を最後に休会しているため、第一回から第十三回までの分で前号に掲載できなかった句の中からも選びました。

令和三年はコロナで始まり、コロナで終わった年でした。令和四年の年明けの今も、世界はまだコロナ禍の中です。日本は昨年未まで比較的落ち着いていましたが、年明けからまた感染が広がってきています。ワクチン、ソーシャルディスタンス、マスク着用、水際対策などなど、特效薬が出てくるまでは、従来の基本的な感染対策をしっかりと行っていくしかないのだと思います。終息するまで油断せずに取り切ってください。

令和三年はICT化やロボット導入が進んだ年でもありました。コロナ対策で人的接触を最小限にするために、Zoomを使った会議・研修も頻繁に行われるようになりました。県内外の相手と画面を通して、また海外とも面談ができるようになりました。コロナ後も有効利用して行きたいと思いません。

外国人介護人材雇用も裕生園で始まりました。特定技能労働者制度による雇用です。令和四年は更に数名が入職予定です。少子高齢化が進み、人材が逼迫する介護業界にとって切り札となるのか。私たちの受入れ態勢も問われる年になりそうです。